

一般社団法人 千葉県介護福祉士会 平成28年度 通常総会



五月二二日(日)、千葉県社会福祉センターにおいて「平成二八年度 通常総会」が行われました。

会長挨拶(野口 渉子会長)

昨年一〇月、日本介護福祉士会が「第一三回 日本介護学会」を開催できましたのは、千葉県のチームワークの賜物であり、千葉県・千葉市・関係機関の協力のもとに開催できました。心より御礼を申し上げます。

このたびの熊本地区での地震において、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

現在九州ブロックを中心に介護ボランティアを派遣しておりますが、まだまだ人員不足です。会員の皆様には、日本介護福祉士会及び千葉県介護福祉士会のボランティア登録をお願いいたします。これからも「今、私達にできること」を継続し、発信してまいります。

総会審議(加藤 幸夫議長)

総会員数 七〇一名

出席会員数 三八七名

※出席 五五名

委任状 三三二名

※定款第二二条規定の総正会員の過半数を超える出席者があったため、本総会は成立した

※第一号議案・第二号議案については、連動しているものであるため続けて説明を行う。

第一号議案

「平成二七年度事業報告」

(高橋 仁美事務局長)

二六年度から事業等の運営についてのフロアチャートを作成し、昨年度から実施してきた。計画・起案から案内、報告書について、フローに従って実施している。

第二号議案

「平成二七年度収支決算報告」

(高橋事務局長)

税理士の変更と会計ソフトの購入を行い、税理士の指導のもとに会計を行ってきた。

総会資料が昨年度までのものと項目に多少変更はあるが、内容に変わりはない。

平成二七年度監査報告

(渡邊 菊夫監事・本田 玲子監事)

収支決算書についての質問事項が千葉ブロックの木村氏よりあり、確認のうえ、第一号議案及び第二号議案は賛成多数にて承認された。

※第三号議案・第四号議案については、連動しているものであるため続けて説明を行う。

第三号議案

「平成二八年度事業計画(案)」

(高橋事務局長)

介護支援専門員の受験対策について、今年度は実施しない。

研修案内について、早めに案内ができるように心掛けた。期間があるものについてはまとめてご案内できるようにしていく予定。

第四号議案

「平成二八年度予算(案)」

(高橋事務局長)

現在、会員の入会申し込みを少しずつだいでいる状況。七五〇名の会員数を目指したい。

予算(案)の「法定福利費」について、長く勤務していた事務員が退職したため、今年度は少なくなっている。

「消耗什器備品費」については、会計ソフト代であるため、今年度は計上していない。

質問事項(千葉ブロック・木村氏)

七〇一名の会員であるとのことだが、養成校の学生がとて少ない状況であり、「質」だけではなく「量」の問題だとも思う。そのあたりをどう考えているか。

回答(野口会長・高橋事務局長)

職務的なことやメンタル的なことも含めた研修会をやるというところで考えて良いか。

メンタルケアの研修会もやってきている。研修の後にアンケートを必ず書いていただいている。具体的に「こういう研修を」という案を書いていただいて、それをもとに計画をしていきたい。

裾野を広げていく活動をしていくことによって、介護福祉士の質の向上も、量も増えていくと思っている。



第三号議案・第四号議案ともに、賛成多数にて承認された。

第五号議案 「役員改選(案)」 (高橋事務局長)
候補者について、候補者名簿を参照して説明。

質問事項 (千葉ブロック 木村氏)
役員選挙に出るのも、介護福祉士会会員としての一つの資格要件になるものだと思っている。現在は三名の推薦が必要となっているが、これを無くせば、もっと立候補する人が増えるのではないか。

回答 (高橋事務局長)
新しい理事のもとに検討させていただきます。

第五号議案は賛成多数により承認された。

第五号議案が承認されたのち、第一回理事会を開催し、執行部を決定。出席者に報告を行いました。

新役員紹介

総会終了後、第二回理事会が開催され、理事の役割を決定しましたので、お知らせします。

会長

野口 渉子

副会長

松下 やえ子

副会長

村越 洋子

副会長

岩崎 則子

総務委員会

※諸規定の内容整理、各種委員等の選出調整、個人情報保護への対応等 災害対応・支援体制の整備等

八須 祐一郎
安田 智利

啓発・相談委員会

※調査、各種イベントの企画・運営、就職フェア等への協力、相談事業の実施
介護従事者の効用促進・定着に向けた取り組みへの協力

広報委員会

(調整中)
※会報「にじ」の発行・リーフレット等の広報誌の作成
ホームページの編集・イベントの記録等

岩崎 則子
齋藤 ひとみ

事業委員会

※介護技術研究・出版等、講師養成研修等、講師派遣調整
国家試験模擬問題作成・国家試験問題解説作成等

松川 典代

受験対策委員会

※介護福祉士国家試験受験者への支援(交流会・受験対策講座・模擬試験の実施等)、模擬問題集の作成等

森下 愛子

キャリアアップ支援委員会

※会員のキャリアアップに資する研修等の企画・運営
①介護福祉士初任者研修等の企画・運営
②ファーストステップ研修の企画・運営
③介護実習指導者研修及びフォローアップ研修等の企画・運営

箱田 純子
横井 由紀子

研修委員会

※会員の資質の向上に資する現任研修等の企画・運営
法制度・在宅介護・施設介護に関する知識・技術・課題について、情報提供及び研鑽の場を通じての会員支援(研修の実施、ネットワークの構築等)
サービス提供責任者の資質の向上に資する研修の企画・運営

小松 奈津江
堀越 悦雄

東葛ブロック長

南 静代

千葉ブロック長

横山 美智子

北総ブロック長

加藤 幸夫

君津・安房ブロック長

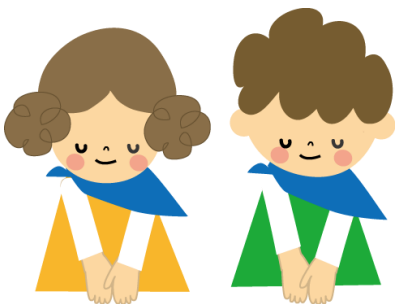
川崎 恵子

東部ブロック長

菊池 幸代

南部ブロック長

丸島 ふみ代



基調講演

「認定介護福祉士養成事業について」
 ～介護福祉士の専門性の認識と更なる
 スキルアップについて～

千葉県介護福祉士会
 八須 祐一郎氏



『日本介護福祉士会のHPにある「認定介護福祉士」認証・認定機構が、今年の五月に動き始めた。まだ不明確なこともあるが、できるだけお伝えしたいと思う。』

一・認定介護福祉士検討の背景

利用者ニーズの多様化や高度化に対応する質の高い介護実践、介護職の指導・教育、医療職との連携強化など、幅広い役割を担う介護福祉士が求められてきている。

これからは、利用者の増加に伴い、介護職としての能力や知識に幅のあるメンバーをチームリーダー（ユニットリーダー・介護主任）だけでなく、必ず大なり小なり、肩書きだけではなくリーダーがいるはず」として取りまとめ、サービスの質の改善のために

教育・指導等に取り組むことも重要になってくる。さらに、これからの地域包括ケアの推進には、利用者に寄り添う専門として、より幅広い視野を持った介護福祉士が必要になってくる。色々な人を取りまとめていく役割を介護福祉士が担っていくことが必要。トップマネジメントというところを認定介護福祉士が担う。

介護福祉士は、資質向上の責務が課せられていることから、今後は更に介護福祉士のキャリアパスが重要になっている。介護福祉士として現場で長く勤められるということ、キャリアパスという考えが出てきた（介護福祉士から上級資格へ）。

世の中が求められるものに対して、私達がどのように応えていくべきか。そこで、継続的な教育機会を提供し、介護福祉士の資質を高め、社会的な要請に応えるために作られたのが「認定介護福祉士」の仕組みです。

二・認定介護福祉士制度の狙い

●介護の根拠を言語化して他職種に説明し共有したり、他職種からの情報や助言の内容を適切に介護職チーム内で共有することで、他職種との連携内容をより適切に介護サービスに反映することに寄与する。地域の中で、どういう形で生活を支えていくのが課題。

つく先輩によってケアの内容や説明が違うという時代もあった。現在はケアの標準化を求めている。上司によって基準がぶれてしまうと、部下は納得できないことがある。きちんとした尺度を持って統一しておかないと、チーム・組織として成り立たない。介護福祉士の倫理要綱等を改めて理解していただく作業も必要。

●介護福祉士の資格取得後の継続かつ広がりを持った現任研修の促進と資質の向上を図る。つまり、介護福祉士資格取得後も介護業界で努力し続け継続的に自己研鑽する拠り所となる。介護福祉士を取るものがゴールではない。全体的にポトムアップをしていかなければならない。

三・認定介護福祉士の効果

●効果的・効率的な運用
 ●介護福祉士がまず魅力的な職種でなければならぬ。認定介護福祉士と一緒に進めていくことで、世間に認知されていく。

四・認定介護福祉士制度とは？

六〇〇時間のカリキュラムが組まれている。働きながら、どう時間を確保していくのか。これは職場の上司の理解・協力がなければ難しい。事業所としてどうとらえるか？が問題。

●養成研修の体系

「認定介護福祉士養成研修Ⅰ類」（技術的など）
 リハビリ職の専門用語を理解して、共通コミュニケーションを取りましようということ。医学の所の話は私達はなんとなくわかるが、リハ職の所はなかなかわかりづらい。一言いえば通じる話が注釈をつけていかなければならない。一言いえば通じる話がお互いに歩み寄りなければならぬ。私達が理解すればもう少し踏み込んだ話ができるのではないか。

相互の所で関係性を築いていかなければならぬ。根拠を言語化して、相手の話を理解できるように意識していく。

「認定介護福祉士養成研修Ⅱ類」

（組織論・マネジメント論）

ドロッカー「非営利組織ほどマネジメント管理を意識して介入していかないとけない」
 何のために・誰のために・どうやってを理解しておかないと、だめになっていく。

「ずっとやっていけると、ある日を境にやる気がなくなってくる」という意見もある。フォロワーとして介護福祉士のメンバーがやっていかないと、リーダーが限界になる。

五・今後の方向性・活躍の場の具体例

●地域包括支援センターにおける介護相談等
 ●地域包括ケアにおいて、介護福祉士が活躍しなければならぬ（専門職種としては該当されていない）。

記念講演

「他職種連携パートナーからみた
介護福祉士の役割」

千葉大学医学部付属病院 地域連携部
部長 藤田 伸輔氏



一・ 幸せってなんでしょう

・ 幸せってどんなもの？

領域に入れる幸せ「自分」

領域から出す幸せ「他人」

比較による幸せ「誰かと比べる」

役に立つ幸せ「誰かの役に立つことに

よる幸せ」＝奉仕の精神

どういふ幸せが一番幸せなんだろう？
必ずしも簡単に決められるわけではない

・ 比較による幸せは必ずしも幸せとは言えない

誰かが必ず不幸にならなければならぬ

い

・ 領域に入れる幸せを重視しすぎると、

あまり良くない

アメリカの統計では、平均年収が高い人ほど、寄付が少ない。

※ICFをどうして最初に作ろうとしたか

一定数の障がい者は必ずいる。

目に見える障がいの人と目に見えない障がいの人との間には、大きな差がある。

二・ 幸せを提供する

● 医療とは

かつて病気は「神様が与えた天罰」だと言われていた。それを治療することは、ひよつとしたら神にそむくことかもしれない。しかもそれでご飯を食べべていけるのだから、悪魔かもしれない。だから治療するのは聖職者だった。

それが、一七世紀になってから病気の「治癒」・苦しみの解放という考えとなっていた。病気の原因がわかってきたのは一七世紀の後半からで、医療ってそんなに大したものじゃなかった。ナイチンゲールの時代でもそうだった。

苦しみの解放をするためには、病気を治癒させなければならぬ。それが二〇世紀の課題となった。

しかし、人間はどこかで死ぬため、治癒することに矛盾ができた。それに対しての新しい回答が「看取り」。

● 心地よさの演出

訪問の後半には、患者さんの手を握り、目を見て

ゆっくりと話を聞く。

ゆったりした時間を「良い経験」ととらえる。

視線を合わせて話を聞いてくれる。

声をかけたときに反応してくれる。

手を握ってくれることは心地よい。

自分を理解してもらっている。

※いい人がいい接触をすれば、患者さんにいい傾向をもたらすはず。実はだれにでも応用可能で、ぜひやってほしいと思います。

三・ 介護とは

生活の困難＝社会の荷物という考えは日本に広く伝わっている。本当に社会の荷物というかどうかは、皆さんの努力にかかっている。

生活の維持＝生きる喜びが入っていると、社会の意識が変わってくるのではないか。社会の荷物という思いから解放されて、生きる喜びが入ってくると何かが変わるのではないか。

● 心と表情と所作

脳の中では出来上がった介護

優しい所作をすると、心に反映する

うわべだけでいいから優しくすると、優しくなれる

※女優や俳優だけが特別な才能を持っているわけではなく、練習すれば誰でも笑顔はできる。

● 認知症の方へ

音が聞こえる↓言葉と認識↓単語に分解↓意味を認識↓答えを判断↓表現を工夫↓発音というものを脳は考えている。少し環境が変わるとこういうことが混乱してわからなくなる。

様々な機能が変動します。

日によつて、時間によつて反動します。

返事をするよりずっと多くわかっていきます。

早口、高い声は苦手です。

Yes・Noの質問ばかりだと嫌になります

※認知症の方は、自分の考えることが少ない。必ずその人の意見を聞いてあげることが大切です。ださい。それをきっかけにして話すこともできなくなる。相手の意見を尊重してあげてください（聞くこと自体が尊重です）。

● 自信がないことを隠すために

病気と健康問題は、患者には大きな問題となっている。病気と診断されない健康問題は三〇%くらいある。医師にはそこはわからない。聞かれたら困るから聞きにくくする（聞かれないようにする）。

良く知っている先生ほど親切です。親切な先生は仲間になりましょう。

ワークショップ

「福祉の魅力を発信する方法」

NPO法人 Ubdobe
代表理事 岡 勇樹氏



●とある島の障がい児施設へ（四〇〜五〇代）島に子供が捨てられていくという現実。「社会的受け皿が無いから出ていくことができない」との施設長の言葉。社会的受け皿ってなんだ？福祉に興味のない人たちが多いから、受け皿がないんじゃない？

●福祉職に必要な「コミュニケーション」とは
非言語コミュニケーション。言葉以外の手段を用いたコミュニケーション。



「頼むから水をくれ」ワークショップ
どれが一番大事だと思えましたか？
（表情・視線・身振り・言葉）

正解は・・・知らんがな。

●「うちの母ちゃん」
最期の三日間くらいになると、ほとんど意識も朦朧として反応も返ってこない。元氣だった母ちゃんを見てきたので、悲しくなった。

「人間は死ぬ過程で、触覚や味覚は落ちていくが、ほぼ健常で残る感覚がある。「聴覚」は死ぬ瞬間まで聞こえています。」と看護師が言った。

「周りですごく聞いているのも聞こえているのか。「ありがとう」「がんばってね」という声をかけてあげるべきじゃないか。」

「聞こえてたら親指動かしてみてよ」と言ったら、少し動かすんです。一二時間くらいまではそうやってコミュニケーションを取り続けた。

人によっては、心電図が止まってから生き返る人がいるらしいんです。母ちゃんはその人だったんです。ベッドサイドでピースして死んで行ってくれたんです。

その後の家族の人生も変わってくるし、この程度のこととがすごいメッセージになってくることを知ったんです

●コミュニケーションとは何なのでしょう？
その人が欲しいと思うことを受信する力が必要なんじゃないか。発信しても、周りの人が受信しなければ繋がらない。

●ある朝の、母からの一枚の手紙
「体調が悪いので入院します。お見舞いには来ないでください。」
本当は二年前からがんだった。ただ一人、誰にも言わずにがんと闘っていた。家族も誰も知らなかった（二年間痩せていくのに気がつかなかった）。入院して半年で亡くなった。

がんに興味もなかったし、何がどうなるのかもわからなかった。悔しい思いの一つだった。

●認知症になったじいちゃん
「何言ってるの？ぼけちゃって。」と、母ちゃんと同じように見過ごしてしまっただけ。何年かして、酷いことになってしまった。施設を探したが、断られた。最終的に精神病院で亡くなった。

「花のサンフランシスコ」という曲を聴かせる
と、反応があつて焦点が合つて、僕の名前を呼んだりするようになった。

●「障がい者」であり「高齢者」である「脳性まひエロ親父」
視覚・聴覚・上下肢・内臓系（ストマ）・言語障害
ほとんどしゃべれず、何を言っているかわからない。
キーワードは「眉毛」。イエス・ノーを駆使して眉毛でコミュニケーションをとる。外出時の車椅子では「首」を使って方向指示をする。

この人と会うまでは、施設で話せる人とはばかりやっていた。いろんなコミュニケーションの方法があるんだなって思いました。

●「自閉症」で「ADHD」の「たっくん」のナンバーソング
質問は全て反復して返ってくる子。情緒が不安定になつて怒りを表す時に、数字の計算で表してくる。

キーワードは「数字」。数字の計算を歌にしてみたら初めて反復しやなく答えて返ってきた。
本当に彼がどうしたかったかというのをあきらめてしまつて、親の言われたままに支援していた。

障がいって意外と、僕らが受信すればなくなるんじゃないか。それが福祉の仕事なんじゃないか。

●人材不足
やばいやばい！って話を、国や県や市町村行政やテレビやラジオがみんな言ってる。
何で増えてほしいんだっけ？
人が不足してやばいから、若い人に業界に参入してほしいっていうのは違つてるよね。もっと「こうだからやろうよ」という話になるのには？

医療看護は命を守り、介護は生活を守る
利用者の選択肢を広げる開拓者
広げた選択肢のバランスを見る調整役
一人できないことを分析し、共に実行！
一人の人間の人生と一緒にクリエイトするパートナー
人が不足してもしてなくても、こういう人が世の中に増えた方が良くないですか？
●やれることがいっぱいあるので、やろう！
独自の千葉のスタイルを創ってほしいんじゃないかな。

晴れときどき にじ 楽勝？ 認知症ケア



認知症ケア

「認知症」と「認知症ケア」。その内容については、見たり聞いたり、調べたりして皆さんもご存じであると思います。しかし、知っていても「上手くいっている」とは限りませんね。認知症の種類はたくさんあり、それぞれの特徴があり、また、個人の性格や歴史が違います。ですから、認知症の方のケアに「ものすごく自信がある」という方はなかなかいらつしやらないのではないのでしょうか。



理学療法士の三好春樹氏が、認知症の方を介護する際の原則を提唱されているので紹介します。

「認知症ケアの七大原則」

① 環境を変えない

認知症の方は、老化ということうまく適応できなかつた人たちです。この適応が困難な人に環境の変化が重なる、症状が重くなり、問題行動が激しくなる可能性が強くなります。環境を変えるのであればならぬ状況においては、環境を変えるデメリットをどれだけ小さくできるかがポイントになります。

② 生活習慣を変えない

入院、入所、転居といった環境の変化がやむを得ない場合、どうしても環境を変えなければならぬとしたら、せめて生活習慣は変えないように手を尽くさなければなりません。環境が変わらなくても、生活習慣が変わると、それに適応しなければならぬ高齢者は大きなストレスを感じます。これまでのやり方なるべく変えないようにすることが大切です。

③ 人間関係を変えない

環境の変化がある場合、人間関係を変えない工夫をして高齢者が受けるダメージを軽減する必要があります。

④ 介護をより基本的に

介護の基本である「食事」「排泄」「入浴」のケアを大事にしようということです。この基本を大切にすることが、問題行動を起こさせないことに繋がっていきます。

⑤ 個性的な空間づくり

者のない空間は「自分が自分である」ことを確かめることができません。思い出の品や使いなれた生活用品がたくさんあって「ここが自分の空間だ」と感じられて落ち着くのです。私物は一番役立つ介護用品なのです。

はたから見ると、汚くて役に立たないものでも、高齢者の方にとっては大切な思い出の品かもしれません。片づけたいと思っても、安易に処分することは控えましょう。

⑥ 一人一人の役割づくり

認知症を進行させないためにも、一人一人に役割をつくるのが大切です。自分にちゃんと役割があり、誰かの役に立っていることが実感できると、表情が豊かになり、認知症の症状がなくなる可能性があります。

ただしどんな役割でもいいというわけではなく、その役割を通して生活が維持、再建され、人間関係がつけられていくものでなくては意味がありません。

⑦ 一人一人の関係づくり

人間関係からのアプローチは、認知症の方が落ち着いて生活するためにきわめて有効です。

「受容より相性」というのが介護の世界の原則です。無理して受容する必要はありません。無理して受容したふりをして、認知症の方はそのことになぜか敏感で、すぐに見破られてしまいます。

「自分には受容できない」と思えば、受容できる人、相性がいい人と変わればよいのです。誰と相性がいいかは、高齢者の方の表情や態度を見ていればわかります。

認知症の方は、家族の関係を求めます。つまり距離の近い情緒的な関係を求めるのです。

認知症の方は①「子供が小さかったところに、頼られていた親としての自分」②「親に全面的に頼っていた子供のころの自分」に戻りたがっています。いずれも母子関係という、相手との一体感を感じられた頃の関係です。

介護者の仕事は、高齢者の方の「最後の母」になることです。もちろん男性でもかまいません。男性の方が母性的な場合もあります。

今年度のにじは認知症ケアについて座談会を行い、その内容を特集します。

研修報告

○千葉ブロック研修会
「介護職に必要なリラクゼーションについて・意見交換会」

訪問看護師・アロマテラピーである方を講師に招き、ターミナル期の方へのリラクゼーション・介護者自身のリラクゼーションを、経験を踏まえて講義していただきました。
演習では、皆でアロマを使用し、マツサージをしあったり、アロマソープを作ったりと、休憩時間を取るのも忘れて、楽しく気持ち良い研修をすることができました。

後半は、業務についての意見交換、今後の研修事業についての意見聴取を行いました。

(横山 美智子)

研修案内

○北総ブロック研修会

「介護予防に効果的！」

心身活用知識と運動機能向上の実践研修

「身体の機能に基づいた体操法を理解しよう」

日時..六月一九日(日)

場所..サンロード津田沼 五階和室

講師..介護福祉士会会員・介護研究会会長

高齢者健康体操にこにこ元氣塾主催者

安達 マツ子氏

参加費..会員 一〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

※上履き・フェイスタオル持参

当日は、動きやすい服装で参加してください

○事業委員会

「講師養成研修(入門編)」

日時..八月二八日(日)

場所..千葉県社会福祉センター 四階会議室

講師..松下 やえ子氏

参加費..会員 二〇〇〇円

一般 五〇〇〇円

定員..三〇名

※当該年度の会費を納入していること

介護福祉士資格取得後、三年以上の実務経験

又は教員経験があること

締切..八月二日(金)

○千葉ブロック研修会

「施設見学・交流会」

「施設見学を行い、広く見聞を広げ、

明日の実務に生かす」

日時..七月一七日(日)

場所..千葉市 サービス付高齢者住宅

参加費..会員 一〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

定員..一〇名

○東葛ブロック研修会

「いのちと暮らしによりそう支援

(介護職の果たす役割)」

日時..七月三〇日(土)

場所..南流山センター 一階会議室

講師..堀越 悦雄氏

参加費..会員 一〇〇〇円

一般 三〇〇〇円



皆様のご参加を
お待ちしております

ちよつとだけ、千葉知っ得?

「水郷の町 佐原」

千葉県香取市の佐原地区は、江戸時代から水運を利用して栄えてきた町です。独自の文化発展をしてきた町でもあり、現在もその面影が残っています。



当時からの家業を引き継いで、今も営業している商家も多く、その街並みは「小江戸」とも呼ばれ、街中を流れる小野川の景色を、観光船に乗って楽しむこともできます。また、日本で初めて実測による日本地図を完成させたことで有名な伊能忠敬の旧宅や資料館もあります。その他、香取神宮も有名。香取の森と呼ばれる広大な敷地には、樹齢一〇〇〇年ともいわれる杉のご神木があり、春には桜の名所として賑わいます。(団子も有名)



利根川からの朝日



夜勤明けに病室の窓から撮影

東日本大震災ではこの辺りも地盤沈下等で大きな被害を受けましたが、今は建物の修復を終え、きれいな街並みに戻りました。

六月から七月は、茨城県・潮来市と共に、あやめ祭りでも多くの観光客で賑わいます。皆さんもぜひ、訪れてみてはいかがでしょうか?

一般社団法人
千葉県介護福祉士会

〒260-0026
千葉市中央区千葉港 4-3
千葉県社会福祉センター
3階

TEL:
043-248-1451

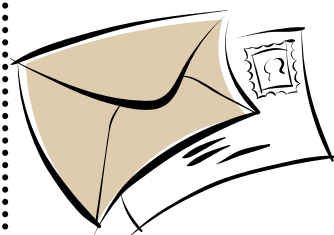
FAX:
043-248-1515

E-MAIL:
Kai5niji@poem.ocn.ne.jp

編集：広報委員会・広報委員長

知りたい情報等がありましたら、上記メールアドレスにお知らせください！

会員数（七二一名）



事務局だより

六月一日 現在

東葛ブロック	一五八名
千葉ブロック	一五三名
君津・安房ブロック	七七名
東部ブロック	七七名
南部ブロック	五七名
北総ブロック	一八九名

全国大会等

公益社団法人 日本介護福祉士会
第二三回 関東・甲信越ブロック大会（神奈川県）
十一月一二日（土）
千葉県が担当するワークショップがあります！
たくさんの方のご参加をお待ちしています！



○日本介護福祉士会会員規定では、年会費は六月三〇日までに納入することとされています。（期日までに納めていませんと、代議員推薦や理事の立候補などができなくなる場合があります）口座登録ができていませんと、振込票の発送の関係で期日までに会費納入できません。口座振替がまだの方は、口座登録をお願いいたします。口座登録の用紙は、事務局までご請求下さい。

※千葉県介護福祉士会 事務局 〇四三・二四三・一四五二

○年会費の領収書が必要な方は、日本介護福祉士会にお電話でご請求下さい。その際には、会員番号と氏名をお伝えください。すぐに送付されます。

※日本介護福祉士会 事務局 〇三・三五〇七・〇七八四

編集後記？



「お年頃・・・？」

季節の変わり目のせいだと思いたい。眠い……。ひたすら眠い。日常の睡眠時間が減ったわけでもなく、仕事がハードになったわけでもなし。目はすごく使うようになったけど、しっかり老眼鏡（笑）をかけているし。満員電車で立っていても目を瞑りたい。ご飯を食べている途中でも眠りたい。・・・いっそ、夢の中で暮らしたい。（岩）